

浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

はばたけ

光と大地の子

令和4年度が始まりました 本年度もよろしくお祈いします

本校では、浅羽学園教育目標「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成を目指し、学校重点目標を「自立 ～気づき・考え・実行～」する子の育成として取り組んでいきます。学園の保・幼・こども園、小・中学校が連携して一貫教育を進めていきます。子供のより健やかな成長を願って、学園全体と地域とで本年度の教育活動を進めていきたいと思ひますので、皆様の御支援・御協力を、よろしくお祈いいたします。

令和4年度の始まりに… 始業式の式辞より

校長 速水二葉

みなさん、進級おめでとうございします。新しい学年になり、新たな気持ちで頑張ろうという期待と、どんな先生かな、どんなクラスになるのかなというちょっぴり不安な気持ちで、今日の日を迎えたことと思ひます。

午前中には、新1年生43人が入学しました。校長先生は1年生にこんな話をしました。どんな話をしたのか、上級生のお兄さんお姉さんであるみなさんにも知っておいてほしいと思ひますので、お話をします。

まずあさバッタ君の紹介をしました。校長先生も初めてあさバッタ君を見たので、とってもきりっとしてかっこいいなあって思ひました。このあさバッタ君は、勉強や運動など、いろいろなことに進んで取り組むことができるすごいバッタなんですよね。

でも、いつもは元気なあさバッタ君が、こんな（泣いている）顔になってしまいました。何があったんでしょうね。1年生のみなさんには、こんな顔のあさバッタ君がいたらどうしますか。と問いかけました。みなさんなら、どうしますか。少し考えてみてください。きっとみなさんなら、「優しく声を掛けてあげたいな。」とか、「何か自分にできることはないか聞いてみよう。」とか、いろいろと考えたと思ひます。

みなさんが考えたことを、実際に行動に移してみると、あさバッタ君がこんな（笑った）顔になりました。どうでしょうか。きっと、この笑ったあさバッタ君の方が、いいなあって思うのではないのでしょうか。

校長先生が、思っているのは、どういうことかと言うと、1年生から6年生のみなさん、浅羽北小の子供たち全員が、もっと言うところ、先生方やおうちの人、地域の人たちが、み～んなこのあさバッタ君のように笑って過ごせるようになることなんです。みんなが、悲しい顔ではなくて、こんなうれしそうな顔になるには、どうしたらいいのかなって考えてほしいです。勉強のとき、休み時間のとき、朝の登校や帰りの下校のとき、給食や掃除のとき、どうすればみんなが気持ちよく笑顔でいられるのかなって、よく考えてほしいなあって思ひます。この（考える）あさバッタ君のように、考えてみてください。

浅羽北小学校の目標は、去年までと同じように、「自立 ～気づき・考え・実行する」です。この言葉を聞いたとき、校長先生は、とってもいい目当てだなあって思ひました。今、学校には先生方がいますが、みなさんが大人になったとき、ずっと先生がそばにいてはありませぬね。自分で気づき、どうすればいいのかよく考えて、それを実行に移すことが大切です。「自立」するために、自分がどうしたらいいのかは、みなさん自身が考えることです。自分で考え、周りの人とも話し合いながら、よりよい自分になってほしいと思ひます。

浅羽北小の子供たちも先生方もみんなが、こんな笑顔で過ごせる毎日にするためにどうすればいいのか、ぜひ考え続けて、実行して行ってください。みなさんのこれからの様子を楽しみにしています。…後略

